

地震発生、
津波襲来。全壊 12万7130戸
半壊 23万1603戸

死者・行方不明者が2万人規模の未曾有の被災だった。

激震とその後の巨大津波により、太平洋沿岸地域を中心に各地で甚大な被害が発生。

死者、行方不明者は合わせて2万人近く、避難者は33万人以上に達した。

また、家屋の全壊をはじめ、道路の流失や崩落、橋の落下、堤防の全壊など、広範囲に及ぶ被害が発生した。

被災は、災害対策の司令塔となるはずの自治体庁舎にも及んだほか、

太平洋沿岸の国道45号、4号、6号の各所を寸断、沿岸部の各地を孤立させた。

宮城県南三陸町防災対策庁舎
東北地方整備局資料

■ 被災状況

死者・行方不明者	死者15,844名 行方不明者3,468名	(平成23年12月 緊急災害対策本部資料)
建築物被害(住家)	全壊 12万7,130戸 半壊 23万1,603戸 一部損壊 65万2,154戸	(平成23年12月 緊急災害対策本部資料)
避難者数	33万4,786	(平成23年12月 緊急災害対策本部資料)
河川の被害	2,115箇所	(平成23年5月 国土交通省資料)
堤防護岸の被害	岩手、宮城、福島3県(堤防護岸300km)において、全壊・半壊が約190km	(平成23年5月 国土交通省資料)
港湾の被害	国際拠点港湾及び重要港湾11港 地方港湾18港	(平成23年5月 国土交通省資料)
下水道関係の被災	下水道処理場の稼働停止18カ所(岩手県、宮城県、福島県及び茨城県の沿岸部にある下水処理場) 管渠137市町村などの下水管66,086kmのうち、957kmで被災	(平成23年5月 国土交通省資料)
道路の被害総数	高速道路15路線 直轄国道69区間 都道府県などの管理国道102区間 都道府県道など539区間	(平成23年5月 国土交通省資料)
津波による浸水面積	岩手県58km ² 宮城県327km ² 福島県112km ²	(平成23年4月 国土交通省資料)